

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肩手術の入院前オリエンテーション導入後の入院期間短縮の評価

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 村松咲江（看護部・看護師）

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：実施承認後～2021年11月30日

目的： 肩関節鏡視下腱板修復術パスに入院前オリエンテーションを追加したことにより
パスの有用性が増加したか評価するために、パスの有用性を評価する。

方法：診療録からの後方視調査

■ 対象となる患者さん

2019年4月～2021年3月に当院で肩関節鏡視下腱板修復術を施行した患者さん

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：肩関節鏡視下腱板修復術パス適応患者数、クリニカルパス（治療や検査の標準的な医療処置や看護ケアなどがまとめられたもの）から逸脱した数と内容、年齢、性別、疾患名、術式、入院前リハビリ実施者数、入院前に病棟看護師が介入した患者数と介入内容の看護記録、更衣・装具着脱を病棟看護師が指導した患者数と介入内容の看護記録、在院日数、退院先、初回外来の外来看護師の介入内容の看護記録等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

村松咲江 看護部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971